三里塚通信
1971
11・28
NO.99
反戦・全学連三里塚現地行動隊現闘本部
大清水団結小屋
千葉県成田市大清水150
TEL 0476-35-0203

一日共の権力との条件取りひきを弾劾する！一

政府・公団の「共同墓地」などをめぐる 懐柔・恫喝を粉砕せよ！

「七二年六月第一期工区空港開港」に向けて政府・公団は、今日、ファッショ的弾圧と反対同盟に対する懐柔・恫喝を一層はげしくしている。

大清水団結小屋を始めとする各団結小屋に対する「令状」なしの侵入とテロルは、日常的に昼夜なしの弾圧として続けられている。又、第一期工区の空港の主要部分にかかる共同墓地へ〇・二ha）藤崎恒治さん宅へ一・三ha）平和塔への〇・四haの三ケ所に対して、空港公団今井総裁は、「来年六月開港のためには未買収地を一月末までに入手する必要がある」として反対同盟現地農民に対してはげしい懐柔・恫喝を行っている。

全ての労働者、農民、学生諸君!! こうした権力の攻撃を革命的団結で断固はねのけ、連日の反対同盟の「騒音のみなもと空港粉砕」という精力的な情宣活動、パイプライン粉砕斗争などの空港粉砕ゲリラ戦を推進し、全国地域斗委と交流結合して一部分的破産を空港全面破産へ！三里塚人民抑圧空港実力粉砕、政府打倒へと不屈に前進しようではありませんか!?

平和塔を権力に売り払おうとしている日共

全ての労働者、農民、学生諸君!!

三里塚斗争史上、一貫して反革命的役割を演じてきた日本共産党は、六七年十二月、反対同盟幹部に対するデマと中傷をもって大衆運動の乗っとりと囲い込み策動をし、三里塚芝山連合空港反対同盟によって絶縁されていることはすでに明らかとなっている所である。

政府公団による第一次〜第二次強制代執行という強権的弾圧に対して、労農学共同をもって「空港絶対反対・徹底抗戦」の実力斗争を断固貫徹し、権力に対して一歩もひきさがることのなかった反対同盟とは対照的に、今回、日本共産党は、平和塔を権力に売り払おうとしている。彼らは、彼らの共産主義的よそおいとはまったく正反対に、斗う者に対するこの上もないうらぎりをもって日共のみにくい反労働者的反人民的本質を白日の下にさらけだしてきている。

千葉県成田市の新東京国際空港第一期工事区域内に残る「平和の塔」敷地と同区域二万平方米のうち、五分の一を占める日共系の土地収用について、日共系と同県・空港公団は二十六日千葉市の労働者福祉センターでトップ会談なるものを開いた。

「テーマは①代替地②減収補償③休耕補償の三つが中心。騒音対策は〝今後の問題〟として残されテーマからはずされている。」（毎日新聞）日本共産党船橋名正夫空港対策委員長は、「党員が農民の要求とかけ離れていても、それを〝たたき台〟にして個別交渉にはいりたい。」と発言。（毎日新聞）日共系は二十六日のトップ会談で①これまで県が提示した二ケ所八三haのほかに代替地があれば見せてほしい②休耕補償を出すほか新しい土地で農業を始めるための資金を無利子で融資する③代替地取得については免税措置をとる—など具体的な〝条件〟を提示した」「友納知事は①新たに代替地候補地二ケ所四〇haを県南に用意してあり近く案内する②補償については最大限努力すると答えた」「日共系は一個別交渉にはいることを了承した。」（毎日新聞）

全ての同志達！ 見よ！日共は既に完全に空港を粉砕する事をやめてしまっている。彼らは、この空港建設がどれ程自然と人間の諸力を破壊し、プロレタリア人民の抑圧と支配を強化するものであるのか知らないのか！六年間の権力の暴虐を知らないのか！オッカーヤオトー現地農民と労働者、学生の流された血と涙の重さを知らないのか！この平和塔を権力に売り払おうとしている日共の斗う者に対するこの上もない裏切りと屈辱があるだろうか！我々は、あらん限りの力をふりしぼって日共を弾劾する！我々は断じて許さない！